



誰もが住んでみたい村に  
農業農村整備

令和7年度

川南原国営施設応急対策事業  
完成図書作成業務

# 積 算 書

(当初)

九州農政局  
宮崎中部農業水利事業所

















事業名	川南原国営施設応急対策事業
業務名	完成図書作成業務

業務別業務名:完成図書作成業務

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S02115	*** S単 - 1号 *** 技術員 技術員		人	36,100		歩A・単A
S63003	*** S単 - 2号 *** (1) 完成図書の構成検討及び目次案の作成 設計労務(直接人件費内業)		式	223,500		歩A・単A
S63003	*** S単 - 3号 *** 耐震化対策施設 設計労務(直接人件費内業)		式	514,950		歩A・単A
S63003	*** S単 - 4号 *** 補修施設(耐震化対策以外) 設計労務(直接人件費内業)		式	378,950		歩A・単A
S63003	*** S単 - 5号 *** (1) 資料の収集 設計労務(直接人件費内業)		式	344,400		歩A・単A
S63003	*** S単 - 6号 *** (2) 資料の分類・整理 設計労務(直接人件費内業)		式	444,300		歩A・単A
S63003	*** S単 - 7号 *** 3. 補修履歴位置図の作成 設計労務(直接人件費内業)		式	485,900		歩A・単A
S63003	*** S単 - 8号 *** 4. 完成図書原稿の作成 設計労務(直接人件費内業)		式	2,624,200		歩A・単A
S63003	*** S単 - 9号 *** 設計労務(直接人件費内業) 設計労務(直接人件費内業)		式	12,490		歩A・単A
S63003	*** S単 - 10号 *** 6. 点検とりまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式	152,050		歩A・単A
S63010	*** S単 - 11号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.5日		回	126,500		歩A・単A
S63010	*** S単 - 12号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0日		回	54,050		歩A・単A
S63011	*** S単 - 13号 *** 打合せ(設計旅費・交通費) 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,ライトバン,1日,4時間		回	11,596		歩A・単A
T00001	*** T単 - 1号 *** 5. 印刷製本		部	12,490		歩A・単A

事業名	川南原国営施設応急対策事業
業務名	完成図書作成業務

業務別業務名:完成図書作成業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 1号 ***					
S02115	技術員		人		1,000	歩A 当たり算出
	技術員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04007 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04007	技術員	1.000	人	36,100	36,100	
	合計				36,100	算出数量 1.000 人
	単価				36,100	
	*** S単 - 2号 ***					
S63003	( 1 ) 完成図書の構成検討及び目次案の作成 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数 3)主任技師の人数 4)技師Aの人数 5)技師Bの人数 6)技師Cの人数 7)技術員の数	0.00人 0.00人 1.00人 1.00人 2.00人 0.00人 0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04003	主任技師	1.000	人	66,900	66,900	
R04004	技師 ( A )	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師 ( B )	2.000	人	48,500	97,000	
	合計				223,500	算出数量 1.000 式
	単価		式		223,500	
	*** S単 - 3号 ***					
S63003	耐震化対策施設 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数 3)主任技師の人数 4)技師Aの人数 5)技師Bの人数 6)技師Cの人数 7)技術員の数	0.00人 0.00人 0.50人 2.00人 2.00人 3.00人 4.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04003	主任技師	0.500	人	66,900	33,450	
R04004	技師 ( A )	2.000	人	59,600	119,200	
R04005	技師 ( B )	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師 ( C )	3.000	人	40,300	120,900	
R04007	技術員	4.000	人	36,100	144,400	
	合計				514,950	算出数量 1.000 式
	単価		式		514,950	
	*** S単 - 4号 ***					
S63003	補修施設(耐震化対策以外) 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数 3)主任技師の人数 4)技師Aの人数 5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	0.00人 0.00人 0.50人 1.00人 2.00人 2.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	

事業名	川南原国営施設応急対策事業
業務名	完成図書作成業務

業務別業務名:完成図書作成業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	7)技術員の人数	3.00人				
R04003	主任技師		0.500	人	66,900	33,450
R04004	技師(A)		1.000	人	59,600	59,600
R04005	技師(B)		2.000	人	48,500	97,000
R04006	技師(C)		2.000	人	40,300	80,600
R04007	技術員		3.000	人	36,100	108,300
	合計					算出数量 1.000 式
	単価			式		378,950
	*** S単 - 5号 ***					
S63003	(1)資料の収集			式		1.000 式 歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)主任技術者の人数	0.00人			豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし
	2)技師長の人数	0.00人			基本給時間:8.0	超勤時間:0.0
	3)主任技師の人数	1.00人			深夜時間:0.0	
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師		1.000	人	66,900	66,900
R04004	技師(A)		1.000	人	59,600	59,600
R04005	技師(B)		2.000	人	48,500	97,000
R04006	技師(C)		3.000	人	40,300	120,900
	合計					算出数量 1.000 式
	単価			式		344,400
	*** S単 - 6号 ***					
S63003	(2)資料の分類・整理			式		1.000 式 歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)主任技術者の人数	0.00人			豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし
	2)技師長の人数	0.00人			基本給時間:8.0	超勤時間:0.0
	3)主任技師の人数	1.00人			深夜時間:0.0	
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師		1.000	人	66,900	66,900
R04004	技師(A)		2.000	人	59,600	119,200
R04005	技師(B)		2.000	人	48,500	97,000
R04006	技師(C)		4.000	人	40,300	161,200
	合計					算出数量 1.000 式
	単価			式		444,300
	*** S単 - 7号 ***					
S63003	3.補修履歴位置図の作成			式		1.000 式 歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)主任技術者の人数	0.00人			豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし
	2)技師長の人数	0.00人			基本給時間:8.0	超勤時間:0.0
	3)主任技師の人数	0.00人			深夜時間:0.0	
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				

事業名	川南原国営施設応急対策事業
業務名	完成図書作成業務

業務別業務名:完成図書作成業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	7)技術員の数	6.00人				
R04004	技師(A)		1.000	人	59,600	59,600
R04005	技師(B)		1.000	人	48,500	48,500
R04006	技師(C)		4.000	人	40,300	161,200
R04007	技術員		6.000	人	36,100	216,600
	合計				485,900	算出数量 1.000 式
	単価			式	485,900	
	*** S単 - 8号 ***					
S63003	4.完成図書原稿の作成			式	1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)主任技術者の人数	0.00人				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし
	2)技師長の人数	0.00人				基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	3)主任技師の人数	6.00人				深夜時間:0.0
	4)技師Aの人数	10.00人				
	5)技師Bの人数	10.00人				
	6)技師Cの人数	14.00人				
	7)技術員の数	16.00人				
R04003	主任技師		6.000	人	66,900	401,400
R04004	技師(A)		10.000	人	59,600	596,000
R04005	技師(B)		10.000	人	48,500	485,000
R04006	技師(C)		14.000	人	40,300	564,200
R04007	技術員		16.000	人	36,100	577,600
	合計				2,624,200	算出数量 1.000 式
	単価			式	2,624,200	
	*** S単 - 9号 ***					
S63003	設計労務(直接人件費内業)			式	1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)主任技術者の人数	0.00人				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし
	2)技師長の人数	0.00人				基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	3)主任技師の人数	0.00人				深夜時間:0.0
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.10人				
	6)技師Cの人数	0.10人				
	7)技術員の数	0.10人				
R04005	技師(B)		0.100	人	48,500	4,850
R04006	技師(C)		0.100	人	40,300	4,030
R04007	技術員		0.100	人	36,100	3,610
	合計				12,490	算出数量 1.000 式
	単価			式	12,490	
	*** S単 - 10号 ***					
S63003	6.点検とりまとめ			式	1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)主任技術者の人数	0.00人				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし
	2)技師長の人数	0.00人				基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	3)主任技師の人数	0.50人				深夜時間:0.0
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の数	0.00人				

事業名	川南原国営施設緊急対策事業					
業務名	完成図書作成業務					
業務別業務名: 完成図書作成業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
R04003	主任技師					
		0.500	人	66,900	33,450	
R04004	技師 ( A )					
		0.500	人	59,600	29,800	
R04005	技師 ( B )					
		1.000	人	48,500	48,500	
R04006	技師 ( C )					
		1.000	人	40,300	40,300	
	合計				152,050	算出数量 1.000 式
	単価		式		152,050	
	*** S単 - 11号 ***					
S63010	打合せ ( 設計業務基準日額 )		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ ( 設計業務基準日額 ) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.5日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師 ( A ) 人数	1.00人				
	5)設計用技師 ( B ) 人数	0.00人				
	6)設計用技師 ( C ) 人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.500日				
R04003	主任技師					
		1.000	人	66,900	66,900	
R04004	技師 ( A )					
		1.000	人	59,600	59,600	
	合計				126,500	算出数量 1.000 回
	単価		回		126,500	
	*** S単 - 12号 ***					
S63010	打合せ ( 設計業務基準日額 )		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ ( 設計業務基準日額 ) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	中間				
	3)設計用主任技師人数	0.00人				
	4)設計用技師 ( A ) 人数	1.00人				
	5)設計用技師 ( B ) 人数	1.00人				
	6)設計用技師 ( C ) 人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.000日				
R04004	技師 ( A )					
		0.500	人	59,600	29,800	
R04005	技師 ( B )					
		0.500	人	48,500	24,250	
	合計				54,050	算出数量 1.000 回
	単価		回		54,050	
	*** S単 - 13号 ***					
S63011	打合せ ( 設計旅費・交通費 )		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ ( 設計旅費・交通費 ) 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,ライトバン,1日,4時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師 A 配置人員	1人				
	5)技師 B 配置人員	0人				
	6)技師 C 配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.50日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	10)交通機関区分	ライトバン				
	11)高速道路往復料金 ( 税別 )	7,800円				
	12)鉄道往復1人当料金 ( 税別 )	0円				
	13)バス往復1人当料金 ( 税別 )	0円				
	14)船舶往復1人当料金 ( 税別 )	0円				





令和7年度川南原国営施設応急対策事業  
完成図書作成業務

特別仕様書

九州農政局宮崎中部農業水利事業所

## 第1章 総 則

### 第1-1条（適用範囲）

令和7年度川南原国営施設応急対策事業完成図書作成業務の施行に当たっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

### 第1-2条（目 的）

本業務は、川南原国営施設応急対策事業の完了に際し、事業発足等の経緯及び本事業により改修等を行った構造物等に関する設計と施工等について、今後の土地改良事業推進の参考とするための資料を作成するものである。

### 第1-3条（場 所）

本業務位置は、宮崎県児湯郡木城町及び川南町地内で、別添位置図に示すとおりである。

### 第1-4条（一般事項）

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- （1）受注者は、作業実施の順序、方法等について監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
- （2）作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
- （3）受注者は、常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提供を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

### 第1-5条（管理技術者）

- （1）管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農業	農業土木、農業農村工学
博士	農学	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

### 第1-6条（担当技術者）

担当技術者は、共通仕様書第1-8条によるものとする。

### 第1-7条（配置技術者の確認）

共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録に当たっては、次によるものとする。

- （1）受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- （2）農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

### 第1-8条（保険加入）

受注者は、共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。

また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

## 第2章 作業条件

### 第2-1条（貸与資料等）

貸与資料は、次のとおりである。

番号	貸与資料	数量
1	国営川南原土地改良事業 事業計画書	1式
2	平成28年度川南原国営施設応急対策事業 高鍋川南地区施設長寿命化計画作成その他業務	1式
3	令和元年度川南原国営施設応急対策事業 主要幹線用水路実施設計業務	1式
4	令和元年度川南原国営施設応急対策事業 主要幹線用水路駄留掛樋実施設計業務	1式
5	令和元年度川南原国営施設応急対策事業 竹浜幹線用水路他実施設計業務	1式
6	令和元年度川南原国営施設応急対策事業 通山幹線用水路国道横断実施設計業務	1式
7	令和2年度川南原国営施設応急対策事業 主要幹線用水路実施設計業務	1式
8	令和3年度川南原国営施設応急対策事業 主要幹線用水路1号掛樋実施設計その他業務	1式
9	令和3年度川南原国営施設応急対策事業 主要幹線用水路白鬚川逆サイホン調査測量設計業務	1式
10	その他業務実施上必要となる資料	1式

また、上記以外に必要な資料がある場合は監督職員と協議するものとする。

### 第2-2条（貸与資料の取扱い）

第2-1条に示す貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

## 第3章 作業内容

### 第3-1条（作業項目及び数量）

本業務における作業項目及び数量は、次のとおりである。

なお、詳細は別表1「作業項目内訳表」のとおりである。

- |               |    |
|---------------|----|
| 1. 企画・構成の検討   | 1式 |
| 2. 資料の収集及び整理  | 1式 |
| 3. 補修履歴位置図の作成 | 1式 |
| 4. 完成図書原稿の作成  | 1式 |
| 5. 印刷製本       | 1式 |
| 6. 点検とりまとめ    | 1式 |

### 第 3-2 条（設計作業の留意点）

設計作業の実施に際し第 2-1 条貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。

### 第 3-3 条（業務の成果品質確保対策）

契約後業務着手時並びに最終打合せ時において、受発注者間の設計方針、条件等の確認の場として、次の会議を設置するので、管理技術者等の受注者代表は、次の事項並びに「業務の成果品質確保対策」（農水省 WEB サイト）を十分に理解のうえ、対応するものとする。

#### （1）業務確認会議

業務着手時に、管理技術者・担当技術者並びに事業所長、担当課長、主任監督員（主催）、監督員が、業務方針、条件等の確認を一堂に会して実施することにより、業務の円滑な推進と成果物の品質確保を図るものとする。

1) 業務確認会議とは、発注者及び受注者が集まり、次の事項について確認を行う会議を開催するものである。なお、確認事項については変更する場合がある。

- ①業務条件・前提条件
- ②業務計画の妥当性
- ③スケジュール
- ④変更内容
- ⑤その他

2) 会議の開催については、監督職員が指示するものとする。なお、開催時期の変更、開催回数の追加が必要な場合は、監督職員と協議するものとし、規定の打合せ時以外に開催する場合の費用については、必要に応じ設計変更で計上する。

（2）業務確認会議において確認した事項については、打合せ記録簿に記録し、相互に確認するものとする。

### 第 3-4 条（業務写真における黒板情報の電子化）

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（1）から（4）によりこれを実施するものとする。

#### （1）使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト (CRYPTREC 暗号リスト)」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

#### （2）機器等の導入

- 1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- 2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

#### （3）黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- 1) 受注者は、（1）の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- 2) 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。なお、上記 1) に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。
- 3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

#### （4）写真の納品

受注者は、（3）に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。なお、受注者は納品時に URL ([http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index\\_digital.html](http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html)) のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム

(信憑性チェックツール) を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

(5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

## 第4章 打合せ

### 第4-1条 (打合せ)

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回と最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初回 設計作業着手の段階

第2回 中間打合せ(企画構成検討段階)

第3回 中間打合せ(完成図書作原稿作成段階)

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合には、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、共通仕様書第1-11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

## 第5章 成果物

### 第5-1条 (成果物)

成果物を共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- (1) 成果物の電子媒体(CD-R等) 正副2部
- (2) 成果物の出力1部(電子媒体の出力、市販ファイル表紙)
- (3) 完成図書製本版 24部

### 第5-2条 (開示用成果物の作成及び提出)

第5-1条に記載している成果物(PDFファイル)に含まれる、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」における「不開示情報」に該当する情報について、システムの編集機能により、その箇所を黒塗りにする措置を行い提出しなければならない。なお、「不開示情報」とは別紙1に示すとおりである。

- (1) 開示用成果物の電子媒体(CD-R等) 1部

### 第5-3条 (成果物の提出先)

成果物の提出先は、次のとおりとする。

宮崎県宮崎市生目台東4丁目6-1  
九州農政局宮崎中部農業水利事業所

## 第6章 契約変更

### 第6-1条 (契約変更)

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (2) 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- (3) 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- (4) 履行期間の変更が生じた場合。

(5) その他

## 第7章 定めなき事項

### 第7-1条 (定めなき事項)

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別表1【作業項目内訳表】

作業項目	作業内容	作業実施欄	備考
1. 企画・構成の検討			
(1) 完成図書の構成検討及び目次案の作成	事業発足の経緯、事業の経緯、主要構造物等に関する設計と施工について事業全体の構成を検討し、目次案を作成する。	○	
(2) 主要構造物の概要	主要構造物の概要については、以下の内容を取りまとめる。	○	
① 耐震化対策施設	基本事項、設計諸元、施工 ※対象施設：主要幹線用水路（白鬚川サイホン、1号掛樋、駄留掛樋） 通山幹線用水路（国道横断サイホン）	○	
② 補修施設 （耐震化対策以外）	基本事項、設計諸元、施工 ※対象施設：主要、竹浜、通山幹線用水路（水路トンネル、開水路）	○	
2. 資料の収集及び整理			
(1) 資料の収集	完了図書の作成に必要な資料を収集する。	○	
(2) 資料の分類・整理	収集した資料について、計画及び実施内容精査を行い、事業の経緯、時系列等を踏まえて資料の整理を行う。	○	
3. 補修履歴位置図の作成	各幹線用水路（主要、竹浜、通山）の築造以降実施した補修履歴箇所の位置図を作成する。	○	
4. 完成図書原稿の作成	完成図書の構成及び目次に沿った内容について、文章、写真、図表等を用いて完成図書原稿を作成する。完成図書の総ページ数は200ページ程度（グラビア含む）を想定している。	○	
5. 印刷製本	完成図書原稿を印刷・製本を行う。 A4 200ページ 24部	○	
6. 点検とりまとめ	成果資料の点検及びとりまとめを行い、報告書を作成する。	○	

注) 作業実施欄の記号；○：本業務で対象とする作業項目及び作業内容

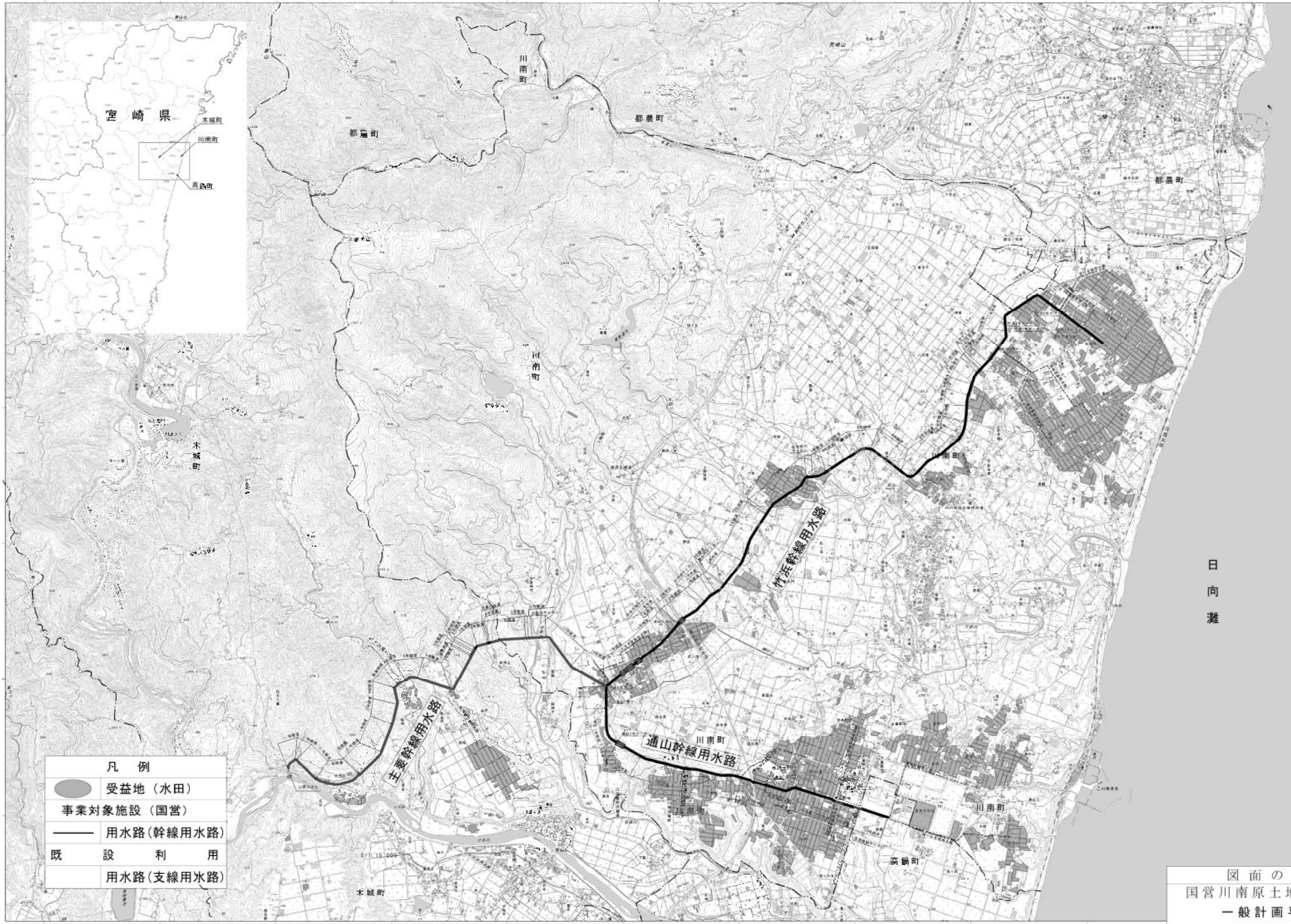
別紙 1

不開示とする情報	該 当 項 目	該 当 条 項
<p>個人に関する情報及び法人その他団体に関する情報</p>	<p>記述等により特定の個人を識別することができる情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受注者氏名</li> <li>・個人・会社の印影</li> <li>・実施設計に必要な各種調査結果に記載された調査員等の氏名</li> <li>・打ち合わせ議事録等の発注者以外の氏名及び組織名</li> <li>・図面等に記載された地番、所有者等の氏名、住所等</li> <li>・顔写真</li> <li>・技術提案等の当該法人の知的財産に関する情報</li> <li>・概算金額算出のための材料単価等見積もり業者名</li> <li>・IPアドレス等機器の接続情報</li> <li>・その他（公にすることにより個人・会社の権利利益を害する恐れのある情報）</li> </ul>	<p>行政機関の保有する情報の公開に関する法律 第5条第一号及び第二号イ</p>

一般計画平面図  
S=1:50,000



国土地理院



凡例	
	受益地(水田)
事業対象施設(国営)	
	用水路(幹線用水路)
	既設利用用水路(支線用水路)

日向灘

図面の名称  
国営川南原土地改良事業  
一般計画平面図

図面番号 1 1葉の内1枚

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。(承認番号)

縮尺 S=1:50,000